

## 鳥類の餌資源利用～物質循環を念頭に～

企画責任者：嶋田哲郎（宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団），  
溝田智俊（岩手大学農学部）

高い飛翔能力をもつ鳥類は地域内，地域間の生態系の物質循環に大きく関与する。前回の自由集会では，鳥類の生命活動にともなう生元素，とくに窒素の循環と動態解析について議論を深めた。一方で，鳥類の物質循環への関与の程度は栄養段階，採食生態の違いなどによってさまざまである。また，鳥類は生息期間全体にわたってその環境の物質循環に関与すると考えられるため，長期的な視野で鳥類の食物資源の消長，採食活動を知ることが重要となる。ここでは，さまざまな栄養段階に位置する猛禽類，魚食性，植物食性鳥類の食物資源利用について理解を深めることを目的とする。

開催日時：2007年9月22日（土）

1. 植物食性鳥類の餌資源利用（嶋田哲郎：宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団・  
溝田智俊：岩手大学農学部）
2. 魚食性鳥類の餌資源利用  
サギ・・・佐原雄二氏（弘前大学農学生命科学）  
カモメ・・・溝田智俊（岩手大学農学部）
3. 猛禽類（サシバ）の餌資源利用（東 淳樹氏：岩手大学農学部）